



2021年4月30日

各 位

会 社 名 株式会社オプティマスグループ
代表者名 代表取締役社長 山 中 信 哉
(コード：9268 東証第二部)
問合せ先 総務・IRユニット長 足 立 敢
(TEL：03-6370-9268)

2021年3月期 連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2021年3月15日に公表いたしました「2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の連結業績予想」及び「2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の配当予想」を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年3月期 連結業績予想(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想(A)	23,100	650	950	500	113円34銭
今回発表予想(B)	24,900	860	1,260	950	215円35銭
増減額(B-A)	1,800	210	310	450	102円01銭
増減率(%)	7.8%	32.3%	32.6%	90.0%	90.0%
(ご参考)前期実績	26,520	1,319	1,171	713	151円84銭

2. 2021年3月期 配当予想

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想	－		－	20円00銭	34円00銭
今回発表予想	－		－	36円00銭	50円00銭
当期実績		14円00銭			
(ご参考)前期実績	－	23円00銭	－	25円00銭	48円00銭

3. 連結業績予想及び配当予想修正の理由

当社事業の中核市場であるニュージーランドでは、前回公表(2021年3月15日)いたしました、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響からの回復基調を継続しており、中古自動車市場での購買意欲も引き続き高水準で推移しております。

当社貿易部門では、市場好転を着実に捉えたシェアの拡大に加え、制限が予想されていた船腹の確保が順調に進んだことから売上台数を飛躍的に伸ばしました。これに併せて関連部門も採算向上し、苦戦を強いられていた事業では愈々損益分岐点を超えるに至りました。

また、グループ各社での経営効率化施策の効果等を加味し策定した中期3ヵ年計画に基づいて繰延税金資産の回収可能性について見直した結果、税金費用の減少が見込まれます。

そうした一連の改善の結果を踏まえ、当期通期の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも前回予想より改善する見込みでありますことから「2021年3月期の連結業績予想」を上方修正いたします。

また配当予想につきまして、当社は従前より株主の皆様に対する安定的な利益還元と継続的な企業の成長の双方を経営の最重要課題の一つとして認識しており、コロナ禍においても、株主の皆様に対する安定的な利益還元を継続すべきと考えております。本方針のもと、2021年3月期の配当予想につきましては、純利益の改善に伴い、期末配当を36円00銭とさせていただきます。これにより1株当たりの年間配当につきましては、中間配当14円00銭と合わせ、50円00銭となる見込みです。

(注)なお、連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上